

【胎児・新生児への影響について】

(7) 妊娠中に母親が新型コロナウイルスに感染した場合、胎児にどのような影響がありますか。

子宮内で胎児が感染したことを示唆する報告も少数ながら存在しますが、新型コロナウイルスに感染した妊婦から胎児への感染はまれだと考えられています⁵⁾。

また、妊娠初期または中期に新型コロナウイルスに感染した場合に、ウイルスが原因で胎児に先天異常が引き起こされる可能性は低いとされています。

米国では妊娠中に妊婦が新型コロナウイルスに感染した場合、非感染の妊婦と比較して、早産になりやすい³⁾という報告もあります。

我が国でも、新型コロナウイルス感染症の母子への影響を把握するため、新型コロナウイルス感染症に罹患した妊産婦や小児の罹患状況などの調査研究を行っています（令和2年度厚生労働科学特別研究事業）。

(8) 母親が新型コロナウイルスに感染した場合、母乳や授乳を介して乳児が新型コロナウイルスに感染することはありますか。

母乳を介して新型コロナウイルスが乳児に感染するリスクは低いと考えられています⁶⁾。しかし、母乳中に検出されたとする報告もあります^{7,8,9)}。また、授乳時には、接触・飛まつ感染のリスクがあります。従って母乳栄養を希望される際は、母乳を介した感染や接触・飛沫感染のリスクについて、ご家族や医療機関の医師等と十分に相談の上、授乳方法や時期をご判断ください。

授乳に関しては、以下の方法があります。

- ① 直接母乳：授乳前の確実な手洗いと消毒、マスクを着用して直接授乳をする。
- ② 搾乳：確実な手洗い、消毒後に搾乳をし、感染していない介護者による授乳を行う。（①より接触・飛まつ感染のリスクが低く、あとで直接母乳に戻りやすい利点がある）
- ③ 人工栄養：（母乳の利点と授乳のリスクを説明した上で）人工乳を授乳する。

(9) 新生児が新型コロナウイルスに感染した場合、重症化しやすいですか。

新生児が新型コロナウイルスに感染した事例が少なく、他の様々な要因により状態の変化が起こりえるので、一概に判断できませんが、重症化するのはいまれだとされています。海外では、先天性心疾患など基礎疾患のある新生児が新型コロナウイルスに感染し、重症化した事例が少数ながら報告されていますが、ほとんどの児は回復して^{10,11)}おります。